

## 1998年7月の大気大循環と世界の天候

### 大気大循環

北半球500 hPa 高度場を見ると、高緯度では波数4の循環が卓越し、北極海沿岸、西シベリア、東シベリアからオホーツク海にかけて、北太平洋中部、北アメリカ北西部、北大西洋中部などで正偏差域が、南部を除くヨーロッパ、日本付近、アラスカの南、北アメリカ北東部で負偏差域が広がった。偏西風は、ヨーロッパと中央アジア付近では平年より強かった。また、北アメリカ東部から大西洋にかけても平年より強く、やや南に蛇行していた。850 hPa の流れでは、赤道太平洋の西部から中部にかけては東風偏差が卓越した。華南では、ソマリジェットから連なるモンスーンの南西流が平年よりも顕著だった。200 hPa における大規模な発散域は、インドシナ半島付近に見られ、平年よりも30度程西に偏っていた。また、東部太平洋においては北半球側に発散域、南半球側に収束域が対になってみられた。南方振動指数 (SOI) は+1.5となった。

### 世界の天候

#### ① 中央アジアの高温・少雨

#### ② インドシナ半島から西日本にかけての多雨

中国各地の洪水による死者が2000人を超えたほか、バングラデシュでも洪水により200人以上の死者が出たと報じられた。

#### ③ アジア南部の高温

#### ④ ヨーロッパ北部・東部の多雨

ヨーロッパ東部では下旬に洪水被害が報じられた。

#### ⑤ 中東の高温

#### ⑥ アフリカ西部の高温・少雨

#### ⑦ 北米大陸北西部の高温

#### ⑧ 合衆国北部の多雨

⑨ 合衆国南部からメキシコ・カリブ海諸国にかけての高温・少雨

合衆国南部では熱波による死者が100人を超えたほか、フロリダ半島では林野火災の被害が、キューバでは干ばつの被害が報じられた。

#### ⑩ 南米大陸北部の高温

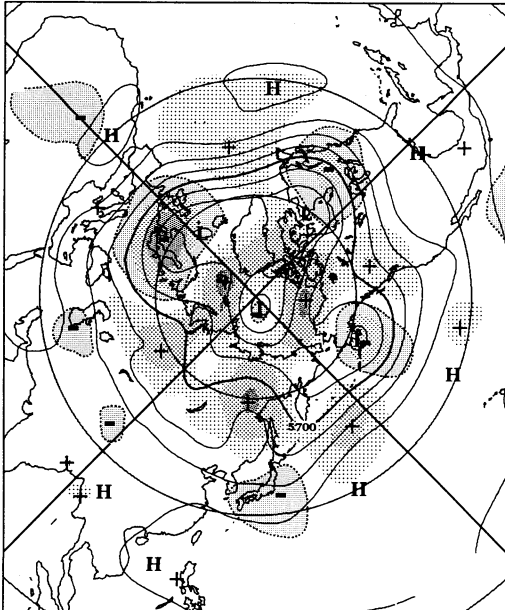
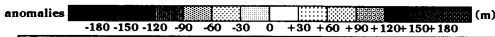
#### ⑪ アルゼンチンの高温

⑫ オーストラリアからニュージーランドにかけての多雨

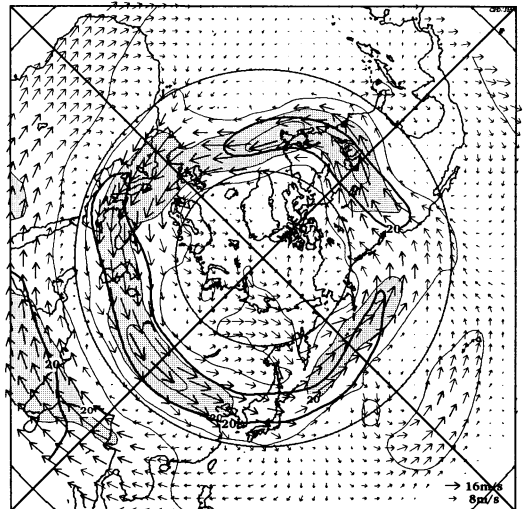
ニュージーランドでは中旬に、オーストラリアでは下旬に洪水による被害が報じられた。

#### ⑬ オーストラリア南西部の低温

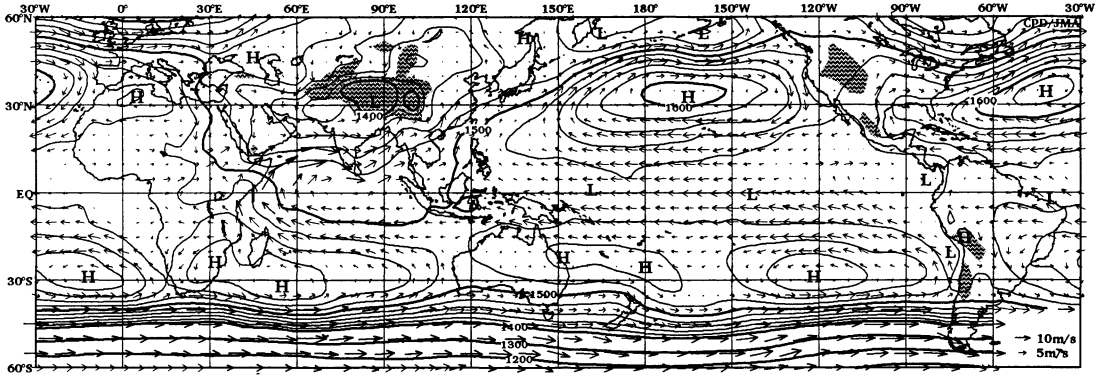
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 石原幸司)



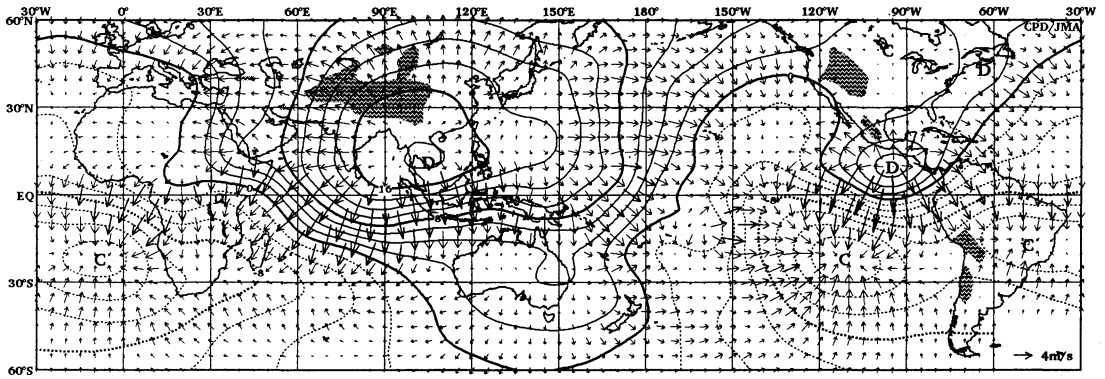
1998年7月の北半球月平均500 hPa高度および平年偏差  
等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は30 m. 平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。



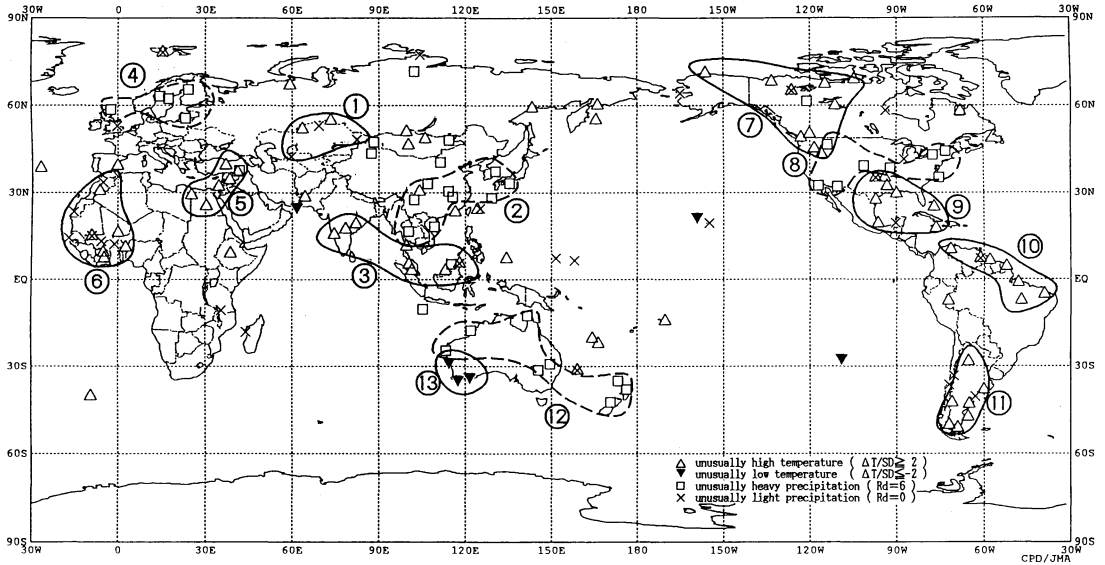
1998年7月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル  
等値線間隔は15 m/s. 陰影部は平年で30 m/s以上. 平年値は1979~1996年のデータに基づくもの。



1998年7月の月平均 850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は 20 m (1400 m までは 100 m)



1998年7月の月平均 200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は  $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1998年7月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨  
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.